

高知県感染症発生動向調査（週報）

2012年 第49週（12月3日～12月9日）

★ お知らせ

○ 感染性胃腸炎に注意して！

定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の9.90から13.83に増加し注意報値を超えました。患者発生報告数が増加するのは冬季で、その大半はノロウイルス等のウイルス感染を原因とするもので、嘔吐・下痢・腹痛・発熱などの症状を引き起こします。ほとんどの方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化したり、吐物を誤って気道に詰まらせて死亡する事があります。脱水にならないように、できる限り水分の補給をすることが大切です。感染力は大変強く、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあります。症状が消失した後も、約1週間は便の中にウイルスが排出される可能性があります。感染を拡げないために、帰宅後の手洗い・うがいを励行し、食事前やトイレの後は必ず手を洗いましょう。また、ウイルスを含む汚染物の処理には次亜塩素酸ナトリウムを使用するか、85℃以上で1分以上の加熱が必要です。高知県ノロウイルス対策マニュアルを予防対策の参考にしてください。（URL <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>）

○ 水痘に注意して！

定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の1.90から2.97に増加し注意報値を超えました。臨床経過は一般的に軽症で、倦怠感、掻痒感、38度前後の発熱が2～3日間続く程度であることが大半ですが、成人ではより重症化しやすいです。感染力は強く、発疹出現の1～2日前から出現後4～5日、あるいは痂皮化するまで伝染力があるのでヒトとの接触をさけることが重要です。例年冬季に流行しているので引き続き手洗い、うがいの一般的な予防方法の励行に努めましょう。

○ インフルエンザに注意して！

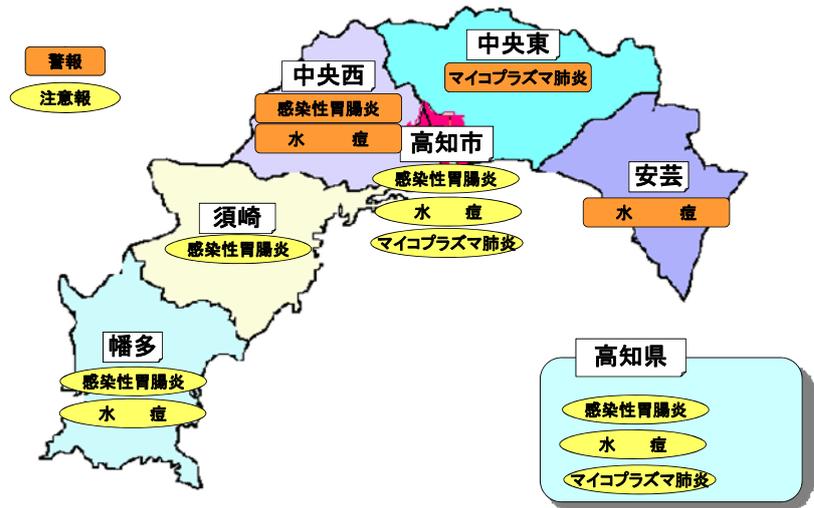
定点医療機関からの報告は、定点当たり0.35と3週連続で増加しています。医療機関による迅速キットの結果では、インフルエンザウイルスA型、B型の両方が検出されており、高知市では14人全てがインフルエンザウイルスB型、中央西では3人全てがA型の報告になっています。今後、更なる増加が考えられますので、外出後の手洗い・うがいの励行とともに、咳エチケットに心がけるようにしてください。

★ 県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）  : 急増  : 増加  : 横ばい  : 減少  : 急減

疾病名	推移	定点当たり報告数(人)	県内の傾向
感染性胃腸炎		13.83	幡多、中央西、高知市、須崎、中央東で増加し、全体では注意報値を超している。中央西で警報値を、須崎、幡多、高知市で注意報値を超している。流行のシーズンなので注意が必要。
水痘		2.97	安芸、中央西、高知市、須崎、中央東で増加し全体では注意報値を超している。安芸、中央西では警報値を、高知市、幡多では注意報値を超している。流行のシーズンなので注意が必要。
RSウイルス感染症		1.53	高知市、中央西で増加した。流行のシーズンなので注意が必要。
マイコプラズマ肺炎		1.13	中央東、高知市で増加し、中央東で警報値を、高知市で注意報値を超している。全体でも注意報値を超している。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.03	安芸、高知市で増加した。流行のシーズンなので注意が必要。

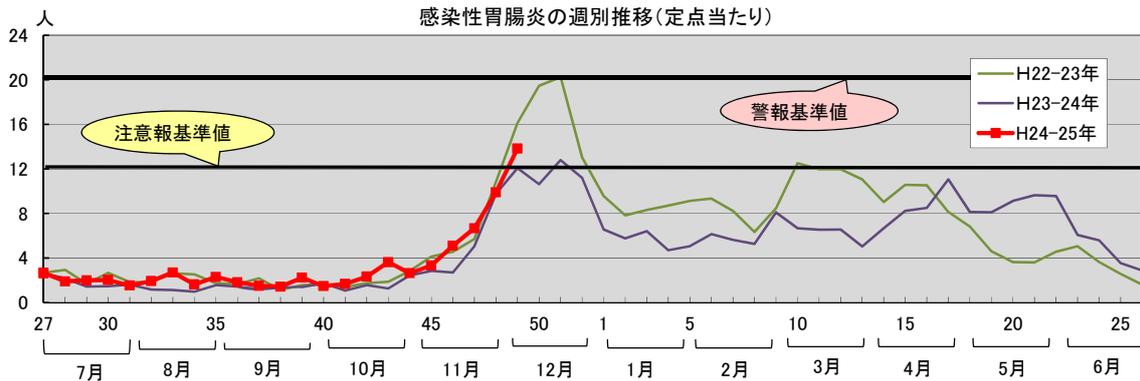
★ 地域別感染症発生状況



★ 気を付けて！

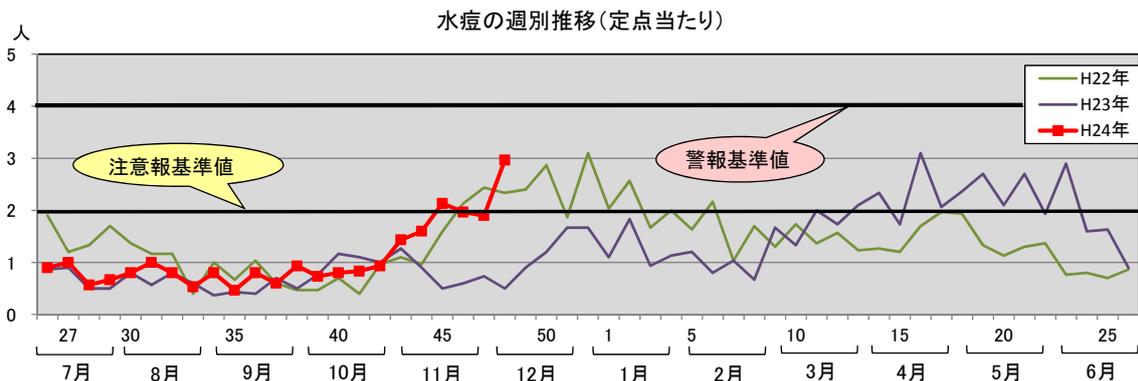
○ 感染性胃腸炎：13.83（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり13.38（前週：9.90）と5週連続増加し注意報値を超えています。中央西（20.67）須崎（17.00）幡多（17.00）高知市（14.09）で増加し、中央西では警報値を、須崎、幡多、高知市では注意報値を超えています。病原体定点からはNorovirusG II NTが13例検出されています。予防方法の基本は、手洗いです。特に、排便後、調理や食事の前には流水、石けんによる手洗いをしましょう。



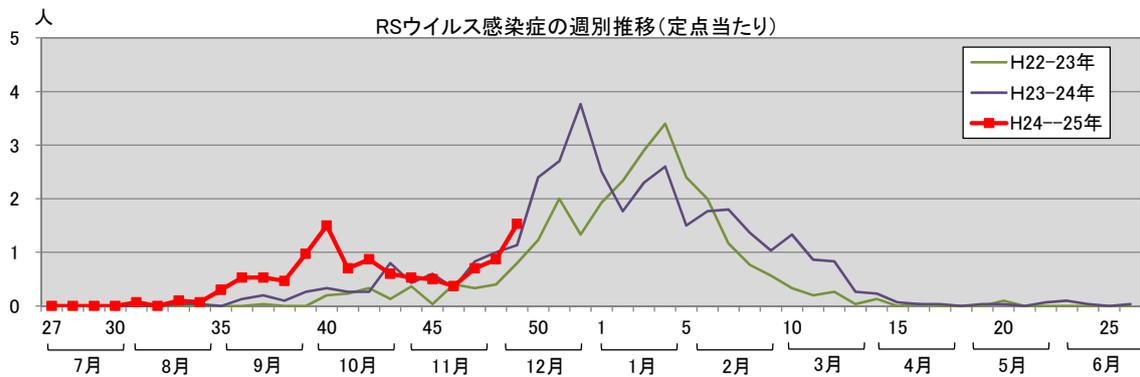
○ 水痘：2.97（注意報値：2.00 警報値：4.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり2.97（前週：1.90）と増加し注意報値を超えています。安芸（7.50）中央西（4.00）高知市（3.09）須崎（1.50）中央東（1.43）で増加し、安芸、中央西では警報値を、高知市、幡多では注意報値を超えています。例年冬季に流行しているの今後注意してください。予防方法は、感染源のヒトとの接触をさけることが重要です。また、飛まつ感染や接触感染を起こすため、うがいと手洗いを行ってください。



○ RSウイルス感染症：1.53

定点医療機関からの報告では定点当たり1.53（前週：0.87）に増加しました。高知市（2.91）中央西（0.67）で増加しました。例年冬季に流行する呼吸器疾患なので今後注意してください。予防方法は手洗い、うがいなどの一般的な予防方法の励行です。



★ 病原体検出情報

前週搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
49	感染性胃腸炎	1	女	高知市	Sapovirus genogroup unknown Norovirus GII NT
49	感染性胃腸炎	2	男	須崎	Norovirus GII NT
49	感染性胃腸炎	1	男	須崎	Norovirus GII NT
49	感染性胃腸炎	1	男	須崎	Norovirus GII NT
49	感染性胃腸炎	2	男	須崎	Norovirus GII NT
49	感染性胃腸炎	2	女	須崎	Norovirus GII NT
49	感染性胃腸炎	2	女	須崎	Norovirus GII NT
49	感染性胃腸炎	4	女	須崎	Norovirus GII NT
49	感染性胃腸炎	1	女	須崎	Norovirus GII NT
49	感染性胃腸炎	1	女	須崎	Norovirus GII NT
49	感染性胃腸炎	1	女	中央西	Norovirus GII NT
49	感染性胃腸炎	1	男	須崎	Norovirus GII NT
49	感染性胃腸炎	1	女	須崎	Norovirus GII NT
49	マイコプラズマ	6	女	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
49	マイコプラズマ	14	男	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
49	マイコプラズマ肺炎	7	女	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
46	下気道炎	1	男	高知市	Human bocavirus
46	気管支炎、肝機能障害	1	男	高知市	Human bocavirus
46	下気道炎	1	女	中央東	Human bocavirus
47	下気道炎	1	女	高知市	Human bocavirus

* 「保健所」について、患者の居住地を管轄する保健所名を記載する。

★ 全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	132	90歳代（男）	安芸
4類	つつが虫病	3	5	60歳代（男）2名 70歳代（男）	中央東

★ 定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	吉本小児科皮膚科	マイコプラズマ肺炎 1 例 (4 歳男)
	早明浦病院小児科	ノロウイルス感染性胃腸炎 2 例 (1 歳男、3 歳女) マイコプラズマ肺炎 2 例 (7 歳男、8 歳女：兄弟)
	高知大学医学部小児科	ノロウイルス胃腸炎 1 例 (1 歳男)
高知市	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス扁桃炎 2 例 (0、4 歳男) マイコプラズマ肺炎 3 例 (5、7 歳男、10 歳女) カンピロバクター腸炎 2 例 (13 歳男、18 歳女)
	高知医療センター小児科	インフルエンザウイルス B 型陽性 1 例 (7 歳女)
	細木病院小児科	ノロウイルス(+)4 例 (1、2、6 歳男、3 歳女) カンピロバクター腸炎 2 例 (9、10 歳女)
	国立高知病院小児科	アデノウイルス感染症 1 例 (2 歳女)
中央西	石黒小児科	帯状疱疹 (右胸部) 1 例 (7 歳)、口唇ヘルペス 1 例 (8 歳男)
	くぼたこどもクリニック	感染性胃腸炎 1 例 (9 歳女：土佐市) インフルエンザウイルス A 型 (ワクチン 1 回接種) 1 例 (9 歳男)
須崎	もりはた小児科	帯状疱疹 1 例 (6 歳女)、マイコプラズマ肺炎 1 例 (7 歳女)
幡多	幡多けんみん病院小児科	ノロ確定 2 例
	さたけ小児科	ノロウイルス感染症 3 例 (1、2 歳男、6 歳女) マイコプラズマ感染症 1 例 (11 歳男)

★ 全国情報

第47週 (11/19～11/25)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核297例

3類感染症：細菌性赤痢3例、腸管出血性大腸菌感染症35例、腸チフス1例

4類感染症：E型肝炎3例、A型肝炎2例、つつが虫病23例、デング熱2例、レジオネラ症20例、チクングニア熱1例、

5類感染症：アメーバ赤痢7例、ウイルス性肝炎2例、クロイツフェルト・ヤコブ病3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、後天性免疫不全症候群16例、ジアルジア症1例、先天性風しん症候群1例、梅毒3例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん43例、麻しん5例

報告遅れ：E型肝炎1例、日本紅斑熱2例、先天性風しん症候群1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、マラリア2例、急性脳炎1例

◆ 感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は多種多様の原因によるものを包含する症候群名である。全国約3,000カ所の小児科定点からの患者発生報告数が増加するのは冬季であり、その大半はノロウイルスやロタウイルス等のウイルス感染を原因とするものであると推測される。また、患者発生のピークは例年12月中となることが多く、同時期の感染性胃腸炎の、特に集団発生例の原因の多くはノロウイルスによるものであると考えられている。

ノロウイルスの感染経路としては、以前は食中毒としての経口感染がよく知られていたが、感染後の発症者や無症状病原体保有者との直接もしくは間接的接触による接触感染や、患者の嘔吐物や下痢便を介した飛沫感染等のヒト-ヒト感染があり、その感染力は非常に強い。乳幼児の集団生活施設である保育所や幼稚園、小児の集団生活施設である小学校等においては、これら接触感染や飛沫感染等により、集団発生が繰り返されてきているものと推察される。また、2006年12月の東京都豊島区のホテルにおいて発生した集団感染事例のように、「吐物や下痢便の処理が適切に行われなかったために残存したウイルスを含む小粒子が、掃除などの物理的刺激によって舞い上がり、それを間近とは限らない場所で吸引し、経食道的に嚥下して消化管へ至る感染経路」である「塵埃感染」が発生する場合がある。ノロウイルスの感染予防には、流水・石けんによる手洗いの励行と吐物や下痢便の適切な処理がきわめて重要である。

感染症発生動向調査では、感染性胃腸炎は全国約3,000カ所の小児科定点からの報告に基づいている。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2012年第42週以降増加が続いており、第47週の定点当たり報告数は13.02 (報告数41,041) となった。2002年以降の過去10年の同時期と比較した場合、2006年 (定点当たり報告数19.82) に次ぐ高い値である。都道府県別では宮崎県 (31.19)、鹿児島県 (27.15)、福井県 (23.32)、愛媛県 (21.65)、大分県 (21.36)、熊本県 (20.08)、富山県 (19.76) の順となっている。定点当たり報告数が全国値を上回

っているのは西日本地域に多いが、40都道府県で前週の報告数よりも増加がみられている。2012年第36～47週の定点当たり累積報告数は65.51(累積報告数206,563)であり、年齢群別割合では0～1歳25.7%、2～3歳21.2%、4～5歳17.1%、6～7歳9.9%の順となっている。

2012年の感染性胃腸炎の報告数は2002年以降では2006年に次ぐ高い水準を保ったまま本格的な流行となってきた。全国各地で検出されたノロウイルスのアミノ酸配列相同性解析により、従来日本国内で検出されていた遺伝子型GII/4とは異なった抗原性を有すると推測される新たなGII/4変異株が2012年の10月以降、全国各地で検出されているとの報告もあり、今後の感染性胃腸炎の発生動向には注意深い観察が必要である。

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第49週 平成24年12月3日(月)～平成24年12月9日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(48週)	高知県(49週末累計)		全国(48週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H24/1/2～H24/12/9	H24/1/2～H24/12/2		
インフルエンザ	インフルエンザ			14	3			17(0.35)	6(0.13)	1,521(0.31)	16,444(342.58)	1,640,287(333.93)		
小児科	咽頭結核熱			3				3(0.10)	2(0.07)	1,150(0.37)	162(5.40)	47,824(15.22)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	6	15	4	3	2	31(1.03)	24(0.80)	5,542(1.76)	1,921(64.03)	252,586(80.39)		
	感染性胃腸炎	12	67	155	62	34	85	415(13.83)	297(9.90)	56,677(18.00)	7,964(265.47)	1,018,716(324.23)		
	水痘	15	10	34	12	3	15	89(2.97)	57(1.90)	5,448(1.73)	2,304(76.80)	170,281(54.20)		
	手足口病		1					1(0.03)	1(0.03)	1,319(0.42)	121(4.03)	67,981(21.64)		
	伝染性紅斑			4				4(0.13)	4(0.13)	143(0.05)	856(28.53)	20,314(6.47)		
	突発性発疹		2	7	2	1		12(0.40)	15(0.50)	1,715(0.54)	662(22.07)	86,307(27.47)		
	百日咳							()	2(0.07)	60(0.02)	328(10.93)	3,880(1.23)		
	ヘルパンギーナ	1						1(0.03)	2(0.07)	175(0.06)	831(27.70)	113,992(36.28)		
	流行性耳下腺炎			3			2	5(0.17)	2(0.07)	1,184(0.38)	683(22.77)	67,353(21.44)		
RSウイルス感染症		7	32	2	4	1	46(1.53)	26(0.87)	3,712(1.18)	956(31.87)	81,849(26.05)			
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	5(0.01)	1(0.33)	444(0.65)		
	流行性角結膜炎			1				1(0.33)	()	424(0.62)	45(15.00)	18,028(26.47)		
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	7(0.01)	9(1.29)	438(0.94)		
	無菌性髄膜炎							()	1(0.13)	17(0.04)	24(3.43)	868(1.86)		
	マイコプラズマ肺炎		2	7				9(1.13)	6(0.75)	562(1.20)	228(32.57)	21,450(45.93)		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							()	()	17(0.04)	13(1.86)	809(1.73)		
計	29	95	275	85	45	105	634		79,678	33,552	3,613,407			
(小児科定点当たり人数)	(14.50)	(13.29)	(23.87)	(27.94)	(22.50)	(21.00)	(20.57)			(902.18)				
前週	21	90	173	50	43	68		445						
(小児科定点当たり人数)	(10.50)	(12.85)	(14.97)	(16.53)	(21.50)	(13.53)		(14.54)						

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(48週)	高知県(49週末累計)		全国(48週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H24/1/2～H24/12/9	H24/1/2～H24/12/2		
インフルエンザ	インフルエンザ			0.88	0.60			0.35	0.13	0.31	342.58	333.93		
小児科	咽頭結核熱			0.27				0.10	0.07	0.37	5.40	15.22		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.86	1.36	1.33	1.50	0.40	1.03	0.80	1.76	64.03	80.39		
	感染性胃腸炎	6.00	9.57	14.09	20.67	17.00	17.00	13.83	9.90	18.00	265.47	324.23		
	水痘	7.50	1.43	3.09	4.00	1.50	3.00	2.97	1.90	1.73	76.80	54.20		
	手足口病		0.14					0.03	0.03	0.42	4.03	21.64		
	伝染性紅斑			0.36				0.13	0.13	0.05	28.53	6.47		
	突発性発疹		0.29	0.64	0.67	0.50		0.40	0.50	0.54	22.07	27.47		
	百日咳							()	0.07	0.02	10.93	1.23		
	ヘルパンギーナ	0.50						0.03	0.07	0.06	27.70	36.28		
	流行性耳下腺炎			0.27			0.40	0.17	0.07	0.38	22.77	21.44		
RSウイルス感染症		1.00	2.91	0.67	2.00	0.20	1.53	0.87	1.18	31.87	26.05			
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	0.01	0.33	0.65		
	流行性角結膜炎			1.00				0.33	()	0.62	15.00	26.47		
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	0.01	1.29	0.94		
	無菌性髄膜炎							()	0.13	0.04	3.43	1.86		
	マイコプラズマ肺炎		2.00	1.40				1.13	0.75	1.20	32.57	45.93		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							()	()	0.04	1.86	1.73		
計	14.50	13.29	23.87	27.94	22.50	21.00	20.57			902.18				
(小児科定点当たり人数)														
前週	10.50	12.85	14.97	16.53	21.50	13.53		14.54						
(小児科定点当たり人数)														

発行：高知県感染症情報センター(高知県衛生研究所)
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1(保健衛生総合庁舎2階)
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869